鉄壁の耐油紙



水も油も逃さない！

ハイバリアタイプ PW-8130

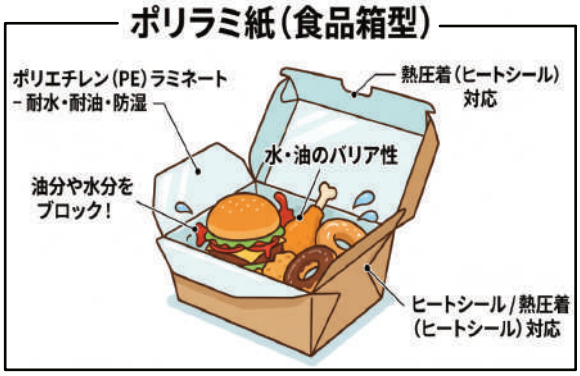
日本化工塗料
NIPPON KAKO TORYO

ハイバリアコーティング剤の開発

～ポリラミ紙（ポリエチレンラミネート紙）からの脱却～

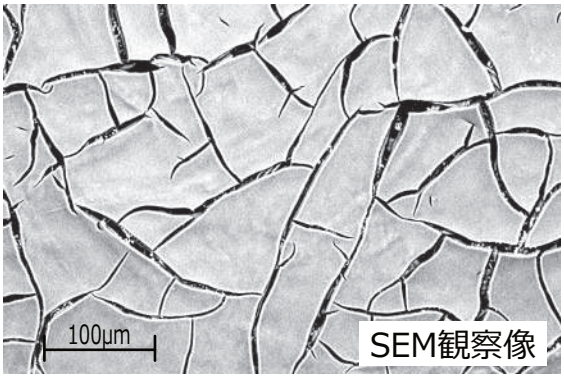
従来の課題

ポリラミ紙は、紙の表面にポリエチレン(PE)フィルムを貼合した複合素材。PEは耐水性や、耐油性が良好であるが、リサイクル性が課題。



ポリラミ紙は万能！しかしリサイクル性が課題

開発のポイント



バリア性の高い樹脂は造膜性が悪い



造膜性を上げるため軟らかい樹脂を使うとブロッキングする

表面に皮膜を形成させるには、軟らかい樹脂の選定が必要だが、ブロッキングとの両立が困難。当社では特殊な架橋剤の併用で解決。

PW-8130の性状と性能

性状	PW-8130
加熱残分	33%
粘度（BM60rpm/25℃）	20mPa･s
法規制	厚労省　食品衛生法PL収載、 米国FDA176.170,176.180適合原料で構成 日本製紙連合会JPA Chemi-net

試験項目		PW-8130 1コート	PW-8130 2コート	ポリラミ紙
KIT耐油度 JAPAN TAPPI 紙パルプ試験方法 No.41	平面	12	12	12
	罫線	4	12	12
耐内容物性 サラダ油　25℃/24h	平面	○	○	○
	罫線	×	○	○
Cobb吸水度		0.8	0.5	0.2

基材　　：坪量230g/㎡板紙　塗布量　：4g/㎡dry×2コート
塗工方法：バーコーター　　乾燥条件：120℃×30秒　1パス

PFASフリー
フッ素樹脂不使用

高い耐油性
KIT耐油度　12級

高い耐水性
Cobb吸水度　1g/㎡以下

食品安全性
食品衛生法PL収載、FDA適合原料で構成

製品の改良等により、事前予告無しにデータ等の記載内容の変更を行う場合がありますが、これらにより生じた如何なる損害に関しましても当社は責任を負いかねます。
また本紙記載のデータ等は弊社にて実施した試験に基づくものであり、保証値ではありませんので、十分な事前確認の上でご使用ください。
本製品の内容については予告なしに変更することもございますので予めご了承ください。

日本化工塗料
NIPPON KAKO TORYO
TEL：0467-74-6550
tokyo@nippon-kako.co.jp